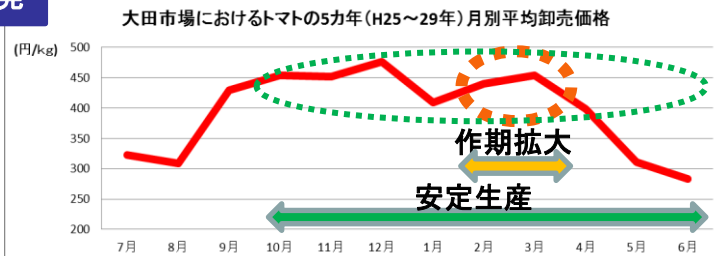


小課題名：(新) ICTを利用した施設土耕トマトの高収益栽培技術の確立（H31～33） 重点化候補

新たな作型開発



作 型		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
従来の栽培【抑制＋半促成】		遅元 消毒 ・ 畦立	定植		抑制の収穫期			遅元 ・ 消毒 ・ 畦立	定植		半促成の収穫期		
					低温越冬								
新【低温越冬による促成栽培】		遅元 消毒 ・ 畦立	定植					低温	拡大 → → →			半促成の収穫期	
新【早期定植による半促成栽培】		遅元 消毒 ・ 畦立	定植					定植	拡大 →			半促成の収穫期	

2~3月の高単価時に早期出荷！！

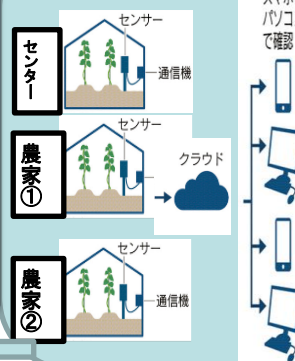
ICTを使った管理マニュアル！
「今を見ながら管理」
「過去を見て修正」
「危険を予想する」



- ・気温
- ・土壌水分
- ・CO2
- ・日射量

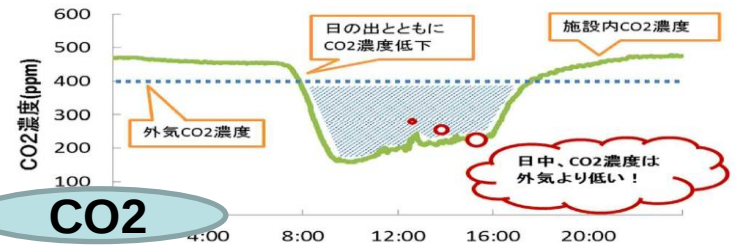
反映！

現地実証

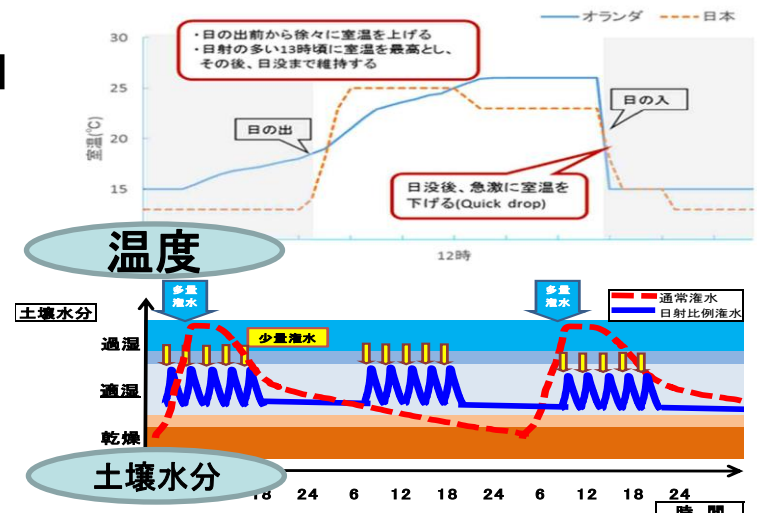


センターと
実証農家を
ICTにより
情報共有
することで
データの蓄
積と解析を
行う。

ICTモニタリングによる簡易環境制御技術の確立



温度



カンではなく見ながら栽培管理することで、
従来施設で簡易環境制御による安定生産！！

期待される効果

- 収量と収益のダブル増加により農家所得が向上される。
- 「見える化」によりベテラン農家だけでなく若手農家へも技術の普及や継承が楽に行える。

産地の維持・活性化!!